

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2013年第50号(週報・月報合併号)

2013年第50週(12月9日~12月15日)、月報11月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

ー RSウイルス感染症：県全体の報告患者数は大幅に減少。ー

RSウイルス感染症はRSウイルスを原因とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の子供が初感染を受けるとされています。また、生涯にわたり感染を繰り返す感染症です。

RSウイルス感染症についてはこちら：国立感染症研究所HP

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/rs-virus-m/rs-virus-idwrc/3972-idwrc-1336-01.html>

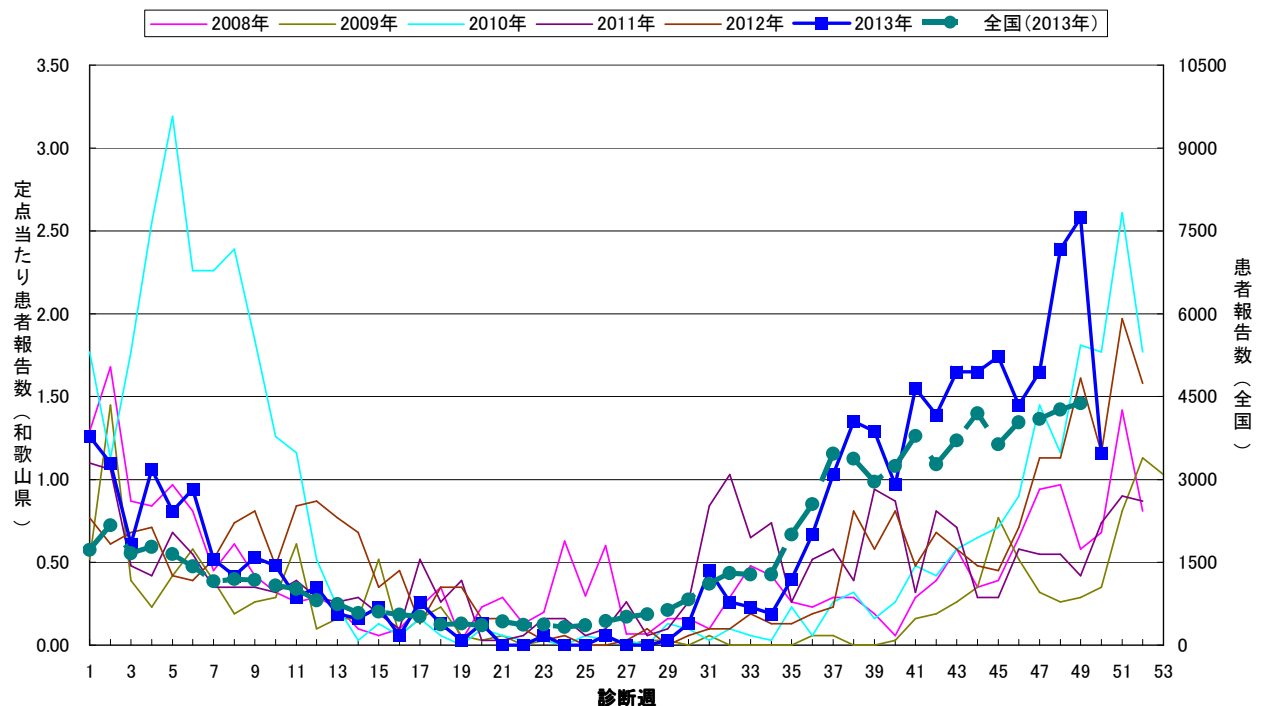
今週の和歌山県全体の定点当たり患者報告数は1.16人(前週：2.58人)と大幅に減少しました。保健所別では、御坊保健所管内で8.00人(前週：13.5人)が最も多い状況です。

全国の小児科定点医療機関から報告された患者報告数は、第49週が4379人(第48週：4266人)と増加しています。

この疾病は例年、年末から2月にかけて流行のピークとなることが多く、今後の動向に注意し感染予防策をとることが必要です。

主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、感染予防策としては、手洗い、うがいが基本です。また、咳の症状がある場合はマスクを着用する等、咳エチケットを心がけてください。

RSウイルス感染症



— **感染性胃腸炎：県全体の報告患者数は5週連続で増加！** —

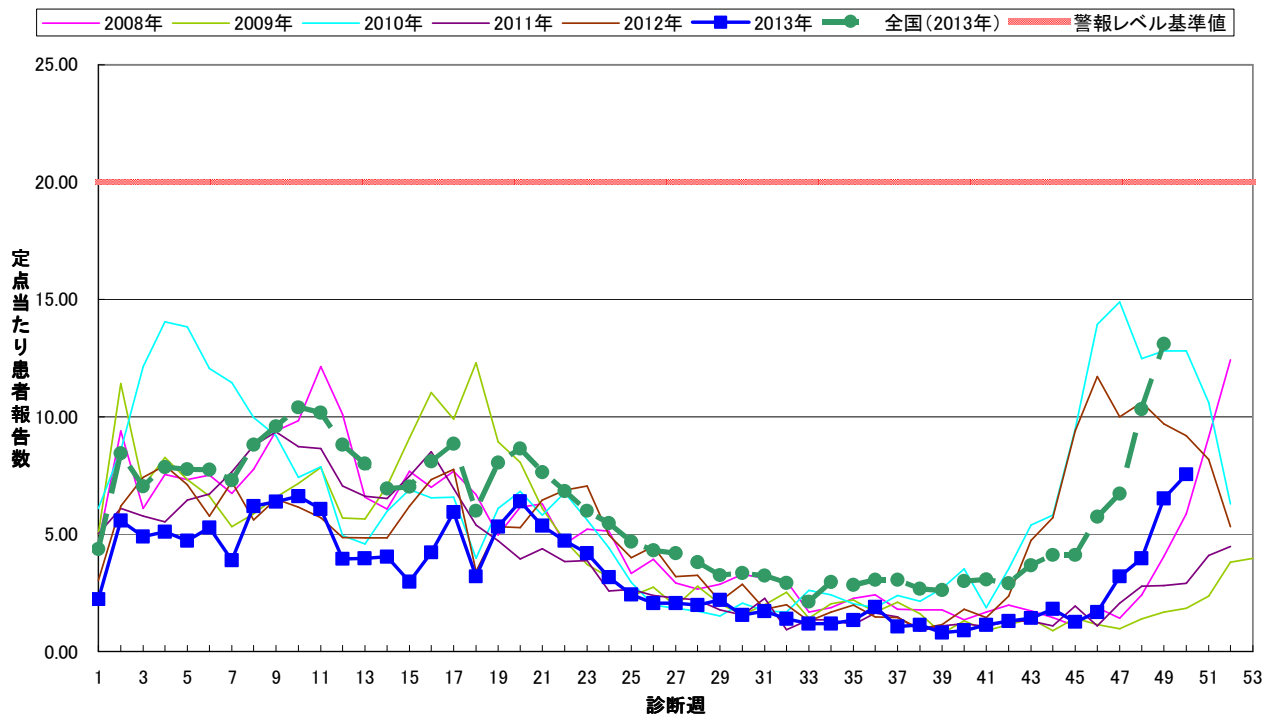
感染性胃腸炎は細菌やウイルス等を原因とする下痢、嘔吐を主症状とする感染症です。特に秋から春先にかけて患者報告数が多くなり、この時期はノロウイルスやロタウイルスが主な原因です。

今週の和歌山県全体定点当たり患者報告数は7.55人（前週：6.52人）と第45週以降増加が続いています。保健所別にみると、和歌山市保健所管内が14.11人と最も多く、次いで岩出保健所管内が10.00人となっています。海南及び串本以外の保健管内で患者報告数が増加しており、今後も注意が必要です。

全国における定点当たりの患者報告数は、第49週では13.11人（第48週：10.33人）と増加傾向が続いています。

ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては食中毒としての経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物进行处理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎(和歌山県全体)



◆◆ **これから注意が必要な感染症** ◆◆

— **インフルエンザ** —

今週の和歌山県全体定点当たり患者報告数は0.34人（前週：0.44人）でした。

例年は12月頃から患者報告数が増え始め、1～3月にかけて流行のピークを迎えます。

今のところ大きな流行はまだ見られませんが、感染を予防するために、予防接種を受けたり、うがい・手洗いの励行、マスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。

風しんワクチン接種に対する助成制度について

和歌山県では、県内の19歳以上50歳未満の妊娠を希望する女性と妊婦の夫を対象とした風しんワクチン接種費用の助成を開始しました。

詳しくは、現在お住まいの各市町村の保健福祉関係課へお問い合わせください。

助成期間：平成25年5月21日～平成26年3月31日

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1類感染症：報告はありませんでした。
- 2類感染症：結核 4名
- 3類感染症：報告はありませんでした。
- 4類感染症：つつが虫病 1名
- 5類感染症：報告はありませんでした。

2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	270
腸管出血性大腸菌感染症	29
つつが虫病	10
デング熱	3
日本紅斑熱	18
レジオネラ症	5
アメーバ赤痢	9
ウイルス性肝炎	2
急性脳炎	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	7
後天性免疫不全症候群	10
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3
侵襲性肺炎球菌感染症	5
先天性風しん症候群	2
梅毒	8
風しん	247

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

ありません。

注意報レベル

ありません。

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	17	2	-	1	1	1	-	1	3	1	1	-	1	-	1	2	1	1	-	-	-
	定当	0.34	0.04	-	0.02	0.02	0.02	-	0.02	0.06	0.02	0.02	-	0.02	-	0.02	0.04	0.02	0.02	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	36	6	6	4	7	4	4	3	-	2	-	-	-	-	-
	定当	1.16	0.19	0.19	0.13	0.23	0.13	0.13	0.1	-	0.06	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	10	-	-	2	3	2	-	2	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.32	-	-	0.06	0.1	0.06	-	0.06	-	-	-	-	0.03	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	24	-	-	-	2	3	4	1	1	5	2	2	4	-	-
	定当	0.77	-	-	-	0.06	0.1	0.13	0.03	0.03	0.16	0.06	0.06	0.13	-	-
感染性胃腸炎	報告	234	4	5	33	29	37	35	17	16	11	9	6	24	4	4
	定当	7.55	0.13	0.16	1.06	0.94	1.19	1.13	0.55	0.52	0.35	0.29	0.19	0.77	0.13	0.13
水痘	報告	44	2	1	2	9	13	8	1	3	1	1	1	2	-	-
	定当	1.42	0.06	0.03	0.06	0.29	0.42	0.26	0.03	0.1	0.03	0.03	0.03	0.06	-	-
手足口病	報告	17	-	-	3	6	3	-	3	2	-	-	-	-	-	-
	定当	0.55	-	-	0.1	0.19	0.1	-	0.1	0.06	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	11	-	6	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.35	-	0.19	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	定当	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	0.06	-	-	-	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	3	-	2	2	10	-	-	-	-
	定当	0.2	-	0.33	0.33	2	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	4	1	12	-	3	16	-	-	-
	定当	0.44	0.5	3	-	1	8	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	3	-	3	-	-	1	3	-	-
	定当	0.33	-	0.75	-	-	0.5	0.75	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	9	-	4	-	2	1	6	2	-
	定当	1	-	1	-	0.67	0.5	1.5	1	-
感染性胃腸炎	報告	127	5	40	32	16	2	4	8	-
	定当	14.11	2.5	10	8	5.33	1	1	4	-
水痘	報告	26	-	8	4	-	1	5	-	-
	定当	2.89	-	2	1	-	0.5	1.25	-	-
手足口病	報告	13	-	1	3	-	-	-	-	-
	定当	1.44	-	0.25	0.75	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	4	1	2	-	2	2	-	-	-
	定当	0.44	0.5	0.5	-	0.67	1	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	1	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	0.33	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	2	-	1	3	-	…
	定当	-	…	-	1	-	1	1.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	1	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	0.5	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

11月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が2.64人となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約59%となっています。

【11月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	29	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	2	1	2	4	17
	定当	2.64	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	0.09	0.09	0.18	0.09	0.18	0.36	1.55
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報（WIDR）2013年第50号

発行日：平成25年12月19日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生动向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。